



南幌に高くくいクレーン

旧清幌橋
解体工事

【南幌】道道栗沢南幌線の夕張川に架かっていた旧清幌橋(南13線西1)の解体工事で、国内最大級のクレーン車が登場した。旧清幌橋は全長34

5分で1935年(昭和10年)に取り付けられた。老朽化のため架け替えられ、昨年11月、現在の清幌橋が完成。本年度、宮坂建設工業(帯広)などの共同企業体(JV)が、9月から旧橋を解体している。

この日、最大650トンを吊り上げられる大型クレーン車が橋桁の撤去に使われた。ジブと呼ばれる腕部分を高さ約80メートルまで伸ばし、長さ約23メートル、重さ約28トン、長さ約17メートル、重さ約27メートルの2ブロックの鋼製の橋桁を橋脚から取り外した。工事は来年3月まで行われる。

(中村康利)
橋桁を軽々と持ち上げた大型クレーン車